


文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel (0776-82-1141) Fax (0776-82-2261)

【斉藤新緑事務所】〒913-0001 福井県坂井市三国町池上 103-36

【e-mail】sinryoku@aurora.ocn.ne.jp

【ホームページ】http://www.ss.apdw.jp

# ほっとらいん

人に、まちに、いま、  
元気の種をまこう。

## VOL. 103



特に、コロナ死ゼロ、ノーリスクの子どもや若者がリスクのあるワクチンを打つ必要はなく、遺伝子組み換え作物同様に、人間が遺伝子組み換えされてしまえば、元の体に戻

ブ参照  
本民族、子々孫々の危機と思い、8年ぶりに6月定例会で「ワクチンの危険性について」一般質問を行いました。(県議会録面中継、YouTube参照)

あれから、高齢者へ、そして、いよいよ、大学生、子どもにまで対象が拡大され、夏休み期間には教員を対象にして、ワクチン接種が加速的に推進されるに至って、人類、日本民族、子々孫々の危機と思い、8年ぶりに6月定例会で「ワクチンの危険性について」一般質問を行いました。(県議会録面中継、YouTube参照)

前回、医療従事者からのワクチン接種が始まろうとする時、「遺伝子ワクチンが死を招く」というタイトルで、人類初の遺伝子組み換えワクチンの危険性について警鐘を鳴らしました。

厚生労働省発表 (2021年7月7日)

日本のコロナワクチン接種後の状況

### 556人死亡

副反応報告

男性 3,322人	重篤 617人
女性 12,826人	重篤 1,653人

性別不明 34人 合計 16,182人

コロナにかかっていない日本人99・95%、コロナで死んでいない日本人99・99%。どこがパンデミック? しかも、この数字は、PCR検査陽性者の大半がインフルエンザなのに、全員「コロナ感染者」にカウント、PCR検査陽性者が死亡した場合、原因は糖尿病

▼コロナ死をはるかに上回る史上最も危険なワクチン

また、スパイクたんぱく質により、ワクチン接種者の吐く息や汗、接触により、周辺者に感染させるため、教員がワクチン接種すると教室内の子どもたちをも感染させる恐れがあります。今回、「ワクチン」と呼ばれて

未だ、安全性も予防効果も何も確認されていない、動物実験段階のもので、いわば、遺伝子人体実験のようなものです。通常の感染予防のためのワクチンではないということをしつかり認識する必要があります。

ることはできず、これから子供をつくらうとする世代が接種すれば、不妊をはじめ、子孫に致命的な問題を生じかねません。また、スパイクたんぱく質により、ワクチン接種者の吐く息や汗、接触により、周辺者に感染させるため、教員がワクチン接種すると教室内の子どもたちをも感染させる恐れがあります。今回、「ワクチン」と呼ばれて

2021/5/12 現在  
発生から 483 日

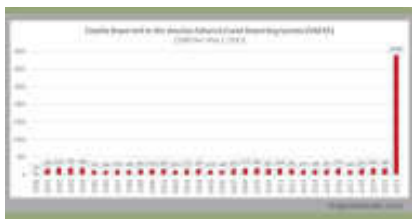
年代	死者数	生存率/人口
10代以下	0	100.0000%
20代	3	100.0000%
30代	19	99.9999%
40代	83	99.9995%
50代	224	99.9987%
60代	728	99.9953%
70代	2,344	99.9857%
80代以上	6,408	99.9461%
不明	62	-
合計	9,871	99.9921%

2021年6月25日 現在  
第1号患者発生から 527日の累計

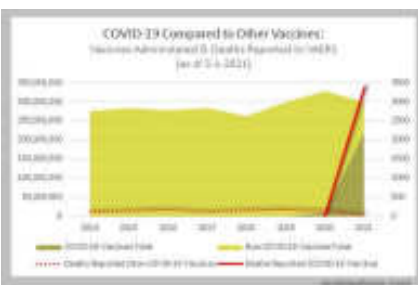
検査数	17,281,915 件
陽性者数(無症状含む)	786,801 人
検査陽性率	4.6 %
退院・療養解除者数	758,887 人
療養中患者数(陽性者・退院者)	27,914 人
死者数(別の死因含む)	14,652 人
重症者数(6月25日時点)	567 人
現在コロナにかかっていない日本人	99.98 %
コロナで死んでない日本人	99.99 %
現在の重症者/人口	0.00045 %

どこがパンデミック???

(注) 事故数等は累計日時の総数であり累計ではありません。



これまでのワクチン事故と今回の事故件数 (日本)



これまでのワクチン事故と今回の事故件数 (米国)

現に、ワクチン接種後の死者、副反応の状況を見ても、わずか接種開始から4ヶ月あまりで、

つまり史上最も危険なワクチンとなっています。

リスクとベネフィット(危険性と有益性)をはかりにかけて考えてみれば、ワクチンを打つ危険性の方が、はるかに高いと思われる。

一方、先行しているアメリカの最新データでは、死者数が2万5800人、副反応により障害者となった人が100万人いることが判明しており、コロナワクチンによるこれまでの死者数は、過去30年間、70種類以上のワクチン接種の死者数よりも多く、インフルエンザワクチンの死亡率の500倍に達しているといわれています。

でも心臓病でも自殺でも何でも「コロナ死」として、水増ししている数字なのです。

報告されているだけで、死者56人、重篤患者1万6182人となっています。従来のインフルエンザ等の予防注射による死者は年平均10名程度であることを考えれば、どれだけ危険なワクチンか理解できるでしょう。

但し、これは、国に報告されたものだけで、全体の1%と言われており、実数は、その百倍といわれており、単純計算すれば5万5600人、年間で計算すればその3倍となります。

報告されているだけで、死者56人、重篤患者1万6182人となっています。

I. 新型コロナワクチンは、まだ動物実験段階のもので

現在、日本で打たれているファイザー製の人類初の遺伝子組み換えワクチンは、推定研究完了日を2023年5月2日までとする治験中のものです。

つまり、これはまだ、安全性を

実証するための臨床検査が完了していない実験段階のもので、つまり、有効性も安全性も確立しておらず、将来、何が起きるのか不明で、そのための実験データを

を集めているに過ぎません。それを、緊急事態ということ

で、特例承認されたものですが、動物実験もしておらず、いきなり人体実験をしています。

(これまで、ファイザー社は、猫で実験したものの全滅したので、動物実験段階から先には進められなかったようです。)



# ワクチンの危険性

という申請していると言うことであり、実験台になる以上、何があっても文句は言えませんが、現にワクチン接種後、すぐに亡くなった人でも、ワクチンが原因とは誰一人認められていません。

2. 人類初の遺伝子組み換えワクチンで、打てば、元

ワクチン史上初めて「メッセンジャーRNA」なるワクチンが使用されるが、これは患者の遺伝子に直接介入し、個人の遺伝情報を

変容するものです。言ってみれば、遺伝子組み換え作物と同様の原理で、人体内で遺伝子組み換えが行われるというこ

と見なされていたものです。ワクチンを接種するとDNA (遺伝子設計図) が書き換えられ、元の自分には戻れなくなり、将来、何が起きるか予測できません。

3. スパイクタンパク質は「毒」だった。

遺伝子ワクチンは、新型コロナウイルスの「スパイクタンパク質」を注射で直接体に挿入し、体の中で「スパイクタンパク質」を生成し、これが「良い抗体」を作るはずで

しかし、これが「毒素」であることが判明しました。このスパイクタンパク質生成に関与する「脂質ナノ粒子」が驚くべき速度で全身の血液で発見され、その後、卵巣、骨髄、リンパ節に高濃度で定着しました。

各臓器に蓄積されてしまうと、臓器障害を起します。全身にスパイクタンパク質が作られれば、血栓がいたる所で出来てしまいます。また、人工の抗体は、教えられたもの以外は反応しないため免疫反応が阻害される危険性、免疫疾患が指摘されています。



この仕組みを必ず覚えておかなければならない  
こんなバカげた技術を未完成のまま接種させている

特に、卵巣の濃度が非常に高いことは、これまで「女性や妊婦に安全である」という説明を根本から覆すものであり、ヨーロッパの一部の国では、男女とも、「これから子どもを持ちたい人は絶対に打たないように指示があったとい

4. ワクチン接種者が感染源となつて、人にうつし

ファイザー社の「ワクチン研究計画書」の中に、ワクチン接種者が感染源となつて、未接種者に感

染させるリスクが書かれています。

また、このスパイクタンパク質が接種者によっては、息や汗、皮脂などから放出され、ケミカル臭(薬品のような臭い)が発散され

海外では、ワクチン接種者がウイルス製造工場になるといわれています。

妊娠中の病院事務の未接種者が流産した事例、同居家族内で孫娘が出血したなど、ワクチン接種者による、未接種者への被害が多く報告されています。

ウイルスではなく、ワクチンによって生成された強力な感染力を持った物質が人から人へと感染していく、そうした現象が起きています。

## 4. 偽ワクチン

スパイクタンパク質を挿入する遺伝子組み換えワクチンを本物とする、人畜無害な「生理食塩水」のようなもの、あるいは極めて危険な「酸化グラフェン」を含んだワクチンなどがあるようです。

ワクチンには順番もいうべきロット番号があり、その番号によっては、死亡例や重篤な副作用など違いがあるようで、まるでロシアアンルーレットのようです。



5Gの運転とコロナ発生の分布が同じ

同じワクチンではないので、ワクチン接種者と接種後の反応の違いがあるのは必然です。

## 5. 「酸化グラフェン」ワクチン

新型インフルエンザが発生した中国武漢は、スマートシティの先進地で、当初から5Gの電磁波との関係が疑われてきました。

アメリカの救急の女医さんが、コロナ感染分布図と5G基地の整備図が一致することに着目し、コロナ患者の肺のCTスキャン

写真を見て、コロナと放射線との関係を調査すると、肺がんで放射線治療した患者など「放射線誘発性肺炎」であることを確認しました。

「放射線誘発性肺炎」とは、通常のバクテリアとかウイルスではなく、肺への損傷、刺激性、放射線治療を受けた人などがなる

もので、呼吸困難、胸が痛い、から咳インフルエンザのような症状で、まさにコロナと同じである

また、ロシアがコロナ患者の死体解剖をした結果、新型コロナはウイルスとして存在するのではなく、放射線を浴びた細菌であり、血液中の凝固(血栓)によって、人間を死に至らしめていることを明らかにしました。

5Gの電磁波によって生じる症状は呼吸困難、インフルエンザのような症状、COVID-19のような症状です。そしてワクチンの集団接種が行われた地域では5Gの周波数を殺菌周波数に変えて大量死を発生させることも可能で、5G兵器システムを使った大量処分の歩み、標的とされかねません。

武漢地域ではワクチンの集団接種が行われていました。その後5Gグリッドが起動されました。その結果、大勢の市民が急死しました。

mRNAワクチンのサンプル研究者らがファイザー社のmRを電子顕微鏡で精密に調べたところ、99%がグラフェン・オキサライド(酸化グラフェン)だったことがわかりました。

つまりこのワクチンはウイルスとは一切関係のないもので感染を予防するために開発されたものではないといわれています。

▼酸化グラフェンという物質がすべての疑問に答える

これまでの疑問

- ①なぜワクチンを打った人の身体には血栓ができるのか
- ②なぜワクチンを打った人の身体に磁石がくっつくのか
- ③なぜ世界中の人にマスクをさせたがるのか
- ④なぜ世界中の人たちにPCR検査を受けさせたがるのか
- ⑤なぜコロナに感染した人は味覚障害、臭覚障害が起き、後遺症が残るのか
- ⑥なぜ、コロナウイルスは存在しないのに、肺炎などで苦しんで死んでいく人たちが存在したのか
- ⑦なぜコロナ騒動は2019年武漢から始まったのか

回答

酸化グラフェンは生体内の血液の凝固を引き起こして血栓を生成する。



酸化グラフェンは免疫系の変質を引き起こす

肺に蓄積された酸化グラフェンは肺炎を引き起こす

酸化グラフェンは金属味を引き起こします

酸化グラフェンを吸い込むと粘膜に炎症が起こり、味覚と臭覚が失われる。

酸化グラフェンには電子吸収帯というのがある。つまり、ある周波数を超えると材料が励起されて非常に急速に酸化し、自然の物質である酸化グラフェンの蓄積に対する毒性物質の生体内での増殖と均衡が崩れるのである。

まさにこの周波数帯は新しい5Gワイヤレス技術の新しい放出帯域で放出されています。だからこそ、パナデミックの最中これらのアンテナの配備が止まることはなかったのです。

酸化グラフェンがマスク、PCR、ワクチンで体内に入れられ

様々な症状を引き起こしています。

・すべては武漢から始まり、これが2019年11月下旬に5G技術試験を行う世界初のパイロットサンブル都市であったことを忘れてはなりません。

世界で始めて5Gを照射した都市。そこで人がバタバタ倒れていった。それが、コロナ茶番の始まりでした。

5G電磁波で、酸化グラフェンが活性化するので。

酸化グラフェンが含まれている「ワクチン」の接種者は、5G領域内の様々な周波数にチューニングすることで精神的に操作されてしまう可能性があります。

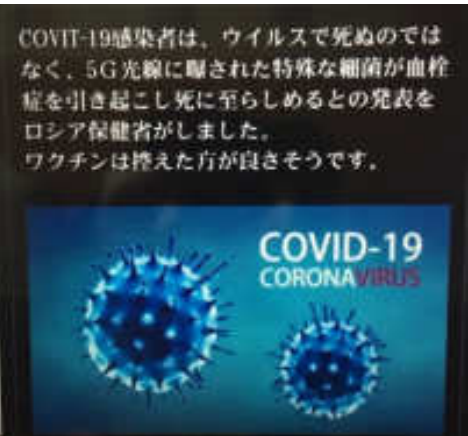
接種者は実際には存在しない感覚を感じ、考えを持ち、物を見えししまうようになります。そして偽の記憶を持つようになり、本当の記憶が消えてしまうようになります。

5Gのネットワークが完全に稼働されていない環境下でも、このワクチンを接種した人々は違和感を感じると訴えています。

5Gは、2021年7月〜8月に全面的に稼働するはずですが、世界的ワクチンプログラムを止めさせるために磁気障害に苦しむワクチン接種者らは医師や保健当局にそのことを報告すべきです。

▼マスクや検査の綿棒に付着している酸化グラフェン

酸化グラフェンがマスク、PCR検査、ワクチン



には「酸化グラフェン」という血栓を作り出す有害物質が含まれています。

これを毎日、マスクなどから肺に吸い込めば、梗塞、心筋梗塞、肺炎になります。

マスク着用やPCR検査を声高に叫ぶ目的がわかるでしょう。

日常的に、酸化グラフェンを含むものを取り入れています。

・コロナワクチン

・インフルエンザワクチン

・鼻腔内投与タイプのコロナワクチン

・PCR検査の綿棒

・抗原検査の綿棒

酸化グラフェンのナノ粒子は行動変化を引き起こす周波数によって興奮しやすくなります。

正確には、グラフェンのナノ粒子は、5Gテックノロジーの周波数41.6ギガヘルツのマイクロ波に共振します。

▼史上、最悪のワクチン

コロナ死よりはるかに多いワクチン死

「ワクチンを打てば、コロナを予防できる。これで安心、コロナを気にせず、堂々と自由にどこでも行ける」

ワクチンを打つ人は、そんな気持ちで打つのだろうが、その期待とは裏腹に、ワクチンには、「スパイクタンパク質」や「酸化グラフェン」という「毒」が入っていて、今や世界中から深刻な被害状況の報告が出されていて、その数は、歴史的、記録的なものになっています。

また、遺伝子組み換えされた身体が将来どうなっていくのか、何が起きるかわかりません。

国内にあっても、連日、「身内や親戚や友人や近所の人が死んだ」という情報があげられ、止まることを知りません。

ワクチン接種直後に亡くなったも、未だに、ワクチンが原因と認められたものはありません。

報告されているものなど、氷山の一角に過ぎず、恐ろしいことが現実起きています。

### 毒入りワクチンを打つな!

「ワクチンを打てば、コロナを予防できる。これで安心、コロナを気にせず、堂々と自由にどこでも行ける」

ワクチンを打つ人は、そんな気持ちで打つのだろうが、その期待とは裏腹に、ワクチンには、「スパイクタンパク質」や「酸化グラフェン」という「毒」が入っていて、今や世界中から深刻な被害状況の報告が出されていて、その数は、歴史的、記録的なものになっています。

また、遺伝子組み換えされた身体が将来どうなっていくのか、何が起きるかわかりません。

国内にあっても、連日、「身内や親戚や友人や近所の人が死んだ」という情報があげられ、止まることを知りません。

ワクチン接種直後に亡くなったも、未だに、ワクチンが原因と認められたものはありません。

報告されているものなど、氷山の一角に過ぎず、恐ろしいことが現実起きています。

▼「新型コロナウイルス」はなかった。

新型コロナウイルスの原因が、スパイクタンパク質や酸化グラフェン、5Gの電磁波などによる肺の損傷、血を凝固させるもので、当初から言われてきたウイルスではなかったことが明らかになっていきます。

「新型コロナウイルス」を対象にコロナ対策をやってきたわけですから、すべてのコロナ対策は無効となります。

酸化グラフェンなどワクチンの成分をみると、全くウイルス感染症予防のものではなく、まさに生物兵器、殺人兵器です。

接種後、血栓によって、交通事故が多発しているといわれていますが、特に、高高度で血栓ができやすく、相次いで、パイロットが亡くなったことから、接種者の操縦を禁止しました。

また、ゾンビのように一方の方向に公園を歩く姿や一瞬、行動がフリーズしてしまう映像が届いています。

安易に「ワクチンパスポート」欲しさに、接種すると搭乗拒否、入場拒否という逆のことも予想できます。

仕事より何より、命が大事です。

## 新型コロナの正体は「5Gと「酸化グラフェン」

# 孫への手紙 (19)

## 爺よ、乳母車を押せ

乳母車

母よ――

淡くかなしきもののふるなり  
紫陽花いろのものふるなり  
はてしなき並樹のかげを  
そうそうと風のふくなり

時はたそがれ

母よ 私の乳母車を押せ  
泣きぬれる夕陽にむかつて  
りんりんと私の乳母車を押せ

赤い総ふさある天鷲絨の帽子を  
つめたき額ひたひにかむらせよ  
旅いそぐ鳥の列にも  
季節は空を渡るなり

淡くかなしきもののふる  
紫陽花いろのものふる道

母よ 私は知つてゐる  
この道は遠く遠くはてしない道

※「乳母車」の詩には、母に対する切ない慕情があふれています。

三好達治は6歳から養子に出され、幼い日に得られなかった母の愛を切望して、この詩を書いたと考えられます。しかし、個人的な叙事詩にとどまらず、普遍的な抒情詩として昇華させたところに、この詩の魅力があります。



初めての誕生日を迎えて丸一歳になりました。元気に育つて、いつの間にか、毎日、お前の乳母車を押すのが、爺の日課になりました。紫陽花がきれいに咲いているのを見ると、三好達治の乳母車と言う詩を思い出します。初めは、お前をあやすために押していたのですが、歩くことで運動になるし、日光に当たってビタミンDを取得するので、免疫力を高めていると考えたとお前が爺のために乳母車を押させているような気がしてきます。

「爺よ、乳母車を押せ」、「爺よ、私のために闘え」と命令されているような気がします。

さて、お前がおなかにいるとき

PCR検査で陽性と出るもの  
●インフルエンザA型  
●インフルエンザB型  
●RSウイルス  
●アデノウイルス  
●パラインフルエンザ  
●マイコプラズマ  
●クラミジア...等  
これらの全てで「陽性」となる。←「PCR検査キットの但し書きにそう書いてあ

原因が解明されなければ、対策できないはずなのに、マスク着用など「新型コロナウイルス対策」が始まりました。徳島大学名誉教授だった大橋真先生は、「ウイルスがあるのかないのかもわからないのに、PCR検査で何を見ているのか」と言われていました。このPCR検査こそ、今回のコロナ騒動の主役と言ってもいいでしょう。

▼「新型コロナウイルス」は存在しない

武漢では、バタバタ人が倒れ、その映像が流され、恐怖心をあおりました。

そして、倒れた死者の肺から遺伝子のカケラを集めたようなものを学者がわずか半月あまりで論文を書き「新型コロナウイルス(COVID-19)」として、WHOがまだ世界に広がってもない段階で「パンデミック」宣言を出しました。

しかし、肺の中から、「新型コロナウイルス」を抽出して、それを証明する正規の手続きを踏んでおらず、武漢研究所が閉鎖され、結局、今になっても、世界中探しても、その存在すら確認できていません。(原因はウイルスではなく「血液の疾患」)

▼PCR検査をやめなければ、コロナは終わらない。

そもそもPCR検査機を発明したキャリーマリスは、これは遺伝子を何億倍にも増幅・拡大して研究するもので、ウイルスや診断に使うものではないことを明らかにしています。検査キットの使用説明書にも、インフルエンザやクラミジアなどでも陽性反応するから、これをもってコロナ感染者としてはいけなことが記されています。

C(アメリカ疾病予防センター)を訴えました。理由は、新型コロナウイルスで陽性と検査された1,500人の内から1人として新型コロナウイルスを見つけることができず、すべてがインフルエンザA型であり、いくつかはインフルエンザB型だったからです。

PCR検査の前に、インフルエンザ検査をすれば、ほとんどコロナ感染者はいなくなります。現に、コロナが発生以来、インフルエンザの患者数は激減しました。

▼PCR検査数を増やせば増やすほど「陽性者」が増え、増幅回数が増えれば増えるほど多くの雑音を拾うので「陽性者」が増える。つまり、PCR検査の陽性者を「コロナ感染者」としてしまえば、PCR検査で、いくらでも患者数を増やしたり減らしたり、操作できるのです。

新型コロナウイルスの5つのトリック

<b>トリック1</b>	新型コロナウイルスを未知の恐ろしいウイルスに見せかける …怖い映像と情報を使って人々に恐怖心を抱かせる
<b>トリック2</b>	PCR検査を新型コロナの判定に使う …陽性判定レベルを緩くして陽性者＝「感染者」を量産
<b>トリック3</b>	無症状の感染者から感染することにする …マスク、ソーシャルディスタンスを強制し、経済崩壊させる
<b>トリック4</b>	PCR検査が陽性であれば、本当の死因に関係なく新型コロナの死者としてカウントするよう指示し、補助金を出す …死者を大幅増やし、恐怖を煽る
<b>トリック5</b>	指定感染症2類相当に指定する …感染者を入院・隔離させ恐怖を煽る …医療崩壊の危機を起こす

# マスク着用による身体への影響

▼PCR検査の陽性者が死んだ場合、糖尿病であろうが、心臓病であろうが、自殺であろうが、死因はすべて「コロナ死」とする指示が出ています。他の病気の死者がコロナ死となつて水増しされています。

## ▼指定感染症のランク付け

また、新型コロナを感染症の2類に指定したため、病院に隔離されてきました。

「病院がパンクする」という悲鳴をあげているというのは、国の指定感染症の分類をエボラ熱などと同ランクに分類して、法的に隔離が義務付けられるからで、インフルエンザ並みの5類に位置づければ何も問題は起きないし、騒ぎもありませんでした。

PCR検査陽性者が無症状でも隔離されるようなことはなかったのです。



感染経路に基づく分類と主な指病	1類 (エボラ出血熱など)	2類 (結核、SARSなど)	3類 (コレラ、細菌性赤痢など)	4類 (狂犬病、マラリアなど)	5類 (季節性インフルエンザなど)
新規コロナウイルス感染症	○	○	○	○	○
1類	○	○	○	○	○
2類	×	○	○	×	×
3類	×	×	×	×	×
4類	×	×	×	×	×
5類	×	×	×	×	×
新規インフルエンザ等感染症	○	○	○	○	△

▼マスクをして生活している人は、頭痛めまいや視力低下・集中力低下という症状を良く訴えます。マスクをして呼吸をするということは、自分の吐いた息を吸っていることになり、約21%の酸素濃度の空気を吸い込み(吸気)、肺で酸素を体内に取り込んで約15%の酸素濃度の空気を吐き出します(呼気)。

酸欠状態は、通常16%の酸素濃度を吸い始めると目覚め、低濃度になるほど症状が重くなり、10%以下で死の危険が生じてくるといわれています。自分が吐いた空気を吸い、酸欠状態を引き起こす濃度です。酸素濃度が低下した空気を吸入し続けることにより、脈拍、呼吸数の増加、頭痛、吐き気、全身脱力、意識喪失などの症状が現れるようになります。

マスクにこもった呼気には低酸素症の危険が！

**吸気** 約21% 酸素濃度の空気を吸い込む

**呼気** 約15% 酸素濃度の空気を吐き出す

酸素濃度16%程度の空気を吸い始めると酸欠状態が表れ、低濃度になるほど症状が重くなり意識が薄れていき10%以下になると死の危険が生じてくるといわれています。

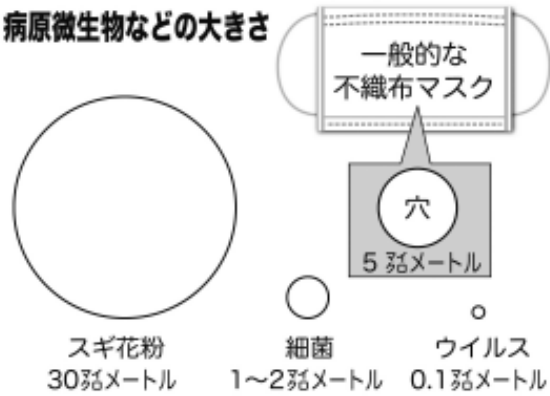
**酸素濃度10%以下で死の危険が！**

左のペトリ皿の雑菌は、マスクを20分間使用した後、マスクの内側から採取した綿棒からペトリ皿で増殖した雑菌です。

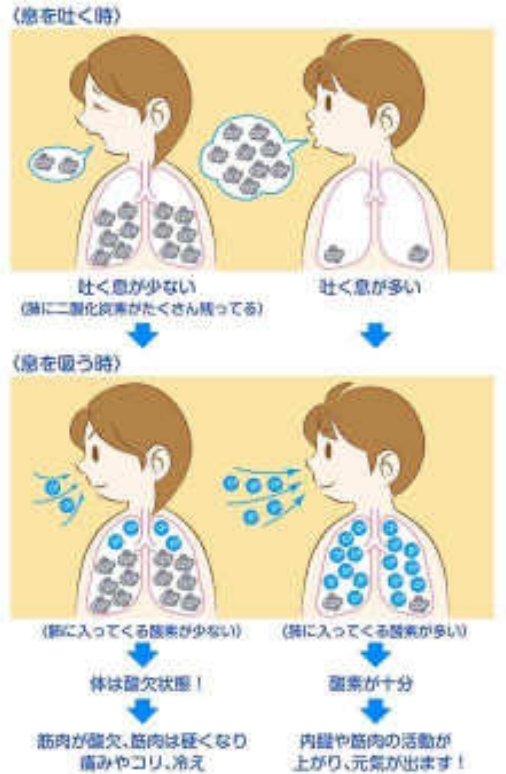


これは、20分間使用した後、マスクの内側から採取して増殖した雑菌です。これはあなたが呼吸しているものです。

新型コロナウイルス騒動が始まってから、マスク着用が叫ばれ義務付けられたと言つて過言ではない状況になりました。今では「マスク会食なるものが、提唱されています。これらに感染予防効果があるのではなく、マスク着用を義務付けさせている意図に気づく必要があります。クラスターは満員電車や飛行機では起きたことがなく、「飲食店」ばかりです。その理由も考える必要があります。



マスクでウイルスは防げないことがわかるでしょう



▼夏場のマスクは非常に危険。マスクを着用することで、酸素欠乏や熱中症の危険性が高まります。

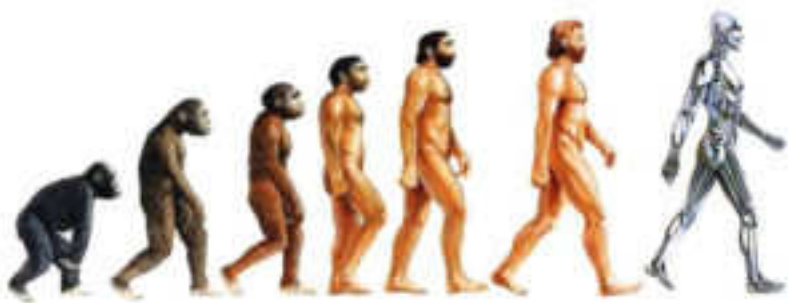
子どもの体温調整機能は大人とは異なります。子どもの汗腺は未熟であるため、大人ほどに汗をかいて体温を下げるよう有効に働きません。水分補給によつて大人と同じような予防効果があると過信してはいけません。また、服を着ている場合、顔から熱を放散しますが、マスクをしていると半分位の作用が抑えられ、熱がこもりやすくなります。子どもは大人より、身体の割合で頭が大きいから注意が必要です。

「酸化グラフェン」という物質は、それ自体が毒物であり、それを吸引することにより、コロナ感染の症状を引き起こしやすし、熱伝導、電気伝導に優れた物質なので、5Gの電磁波に照射されると即座に反応します。

マスクを常用させる意図は「酸化グラフェン」を体内に取り入れるためであり、飲食店での酒の禁止は、酒が「酸化グラフェン」を排出する効果があるからだともいわれています。また、タバコにはそれらを邪魔する効果があるとも言われており、新型コロナウイルスの正体が、「酸化グラフェン」と5Gなら、それに対抗するのが酒とタバコとなるのかも知れません。

▼酸化グラフェンを含むマスクの危険性。中国製をはじめ市販のマスクには、「酸化グラフェン」が含まれているといわれています。

マスクは百害あって一利なし、マスクが最大のリスクです。マスク着用は何の根拠もない以上、できるだけマスクをはずして免疫力を高めましょう。



「トランスヒューマン」とは、「超人間主義」と訳されますが、「人間の進化」という問題であり、科学技術で積極的に人間を改良するという思想です。

不老、不死、不労の社会を理想とし、人間とAI(人工知能)の融合をめざします。SF映画に出てくるサイボーグ人間をイメージした方がわかりやすいかも知れません。

「あなたがコロナウイルス・ワクチンを接種すると、あなたはもはや人間として認識されなくなりま

す。「トランスヒューマン」、今彼らはあなたを所有しています最高裁判所の22ページで、mRNAのワ

# トランスヒューマン

クチン接種を受けた人は、もはや人間としてではなく、トランスヒューマンとして認識されているため、「ライセンス」の対象となる可能性があることを説明しています。

人間のすべての権利、そして定義上、彼らはライセンスの対象となるので、彼らはライセンスを要求した人の所有物になります。(www.rumormill.news / 176705)

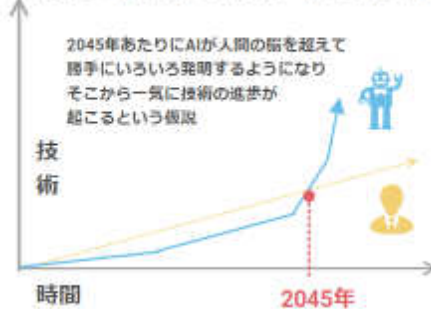
最近「シンギュラリティ」という単語を見かける機会も多くなってきたことかと思えます。実はこのシンギュラリティとトランスヒューマンには深い

## ▼シンギュラリティ

▼5G電磁波がマインド・コントロールに使われる

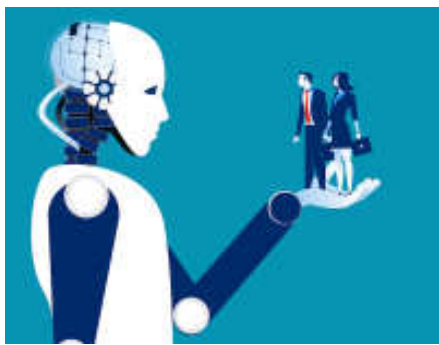
専門家によれば、5G周波数の波形が脳神経活動と酷似しており、脳に進入する5G電磁波

## シンギュラリティとは？



を操作することで、人間の思考や感情を外部から操作することも可能といわれています。

そして、5Gは、この大衆洗脳システムをより高度化させたものだという。



るスーパーシティを実現する「スーパーシティ法案」が成立しました。スーパーシティ法案とは、人工知能(AI)やビッグデータなどの先端技術を活用した都市を作っていくというものです。



ンライン。コロナウイルス対策は、スーパーシティへ続く道だったようです。

無人の自動運転者が巡回し、タクシーのように利用されます。また、空にはドローンが飛び交い、様々な商品が空中輸送されます。

日本語では「新しい生活様式」と呼ぶようです。

これらは、2050年を目標としたムーンショット(挑戦的な研究開発)と呼ばれる政府が掲げる日本のビジョンです。

この「洗脳」テクニックは、不特定多数の大衆に向けても可能となる。民衆に暴動を起こさせたり、鎮めたりすることも可能という

「人が身体、脳、空間、時間の制約から解放される社会」とは、まさに、AI(人工知能)、ロボットに人間が操作され、監視される社会といわざるをえません。

支払いはキャッシュレス、仕事はテレワーク、教育もオ

すべてが、コンピューター、ロボット、電磁波の社会ということ

です。

人間の脳の各分野は、喜怒哀楽で反応する部位が異なる。そこに脳波に連動する周波数の波動を送り込むと、操作する側の思い通りの感情を相手に起こすことができる。これこそ、マインド・コントロールの極致。

この「洗脳」テクニックは、不特定多数の大衆に向けても可能となる。民衆に暴動を起こさせたり、鎮めたりすることも可能という

こったロサンゼルスの人暴動なども、この洗脳装置が使われた、といわれています。



人間の感情を相手に起こすことができる。これこそ、マインド・コントロールの極致。この「洗脳」テクニックは、不特定多数の大衆に向けても可能となる。民衆に暴動を起こさせたり、鎮めたりすることも可能という

こったロサンゼルスの人暴動なども、この洗脳装置が使われた、といわれています。



「人が身体、脳、空間、時間の制約から解放される社会」とは、まさに、AI(人工知能)、ロボットに人間が操作され、監視される社会といわざるをえません。

支払いはキャッシュレス、仕事はテレワーク、教育もオ

**ヘンリー・キッシンジャー博士の WHO評議会での 優生学についてのスピーチ (2009年2月25日)**



羊たちが強制ワクチン接種を受け入れた時がゲームオーバーです。彼らは「社会をより良くするため」なら何でも(血液や臓器の強制的寄付でも)受け入れます。ワクチン接種が成功すれば若者たちの遺伝子は組み換えられ、子を産めなくなります...「社会をより良くするため」に。羊たちの心をコントロールすれば、羊たちをコントロールすることができます。ワクチンメーカーは、カネ儲けのために存在します。そして今、この部屋にいる多くの方々は投資家です。私たちは勝ち組なのです!



トルーマン(終戦時のアメリカ大統領)の有名な言葉「日本人」を「進歩の自由」という権の中で我々が誇るのだ。方法は、彼等に多少の貧乏さと便利さを与えるだけで良い。そして、スポーツ、スクリーン、セックス(3S)を解放させる。これで真実から目を背けさせることができる。我々の家畜だからだ。家畜が主人である我々のために買収するのは当然のことである。そのために、我々の財産である家畜の肉は長寿にさせなければならない。「化学物質などで」毒気にさせて、これによって我々は収穫を得続けるだろう。これは勝戦国の権限でもある。



**失敗だから成功**

mRNAワクチンの注入後2年以内にネコちゃん全員の死亡を確認!

また失敗です! 打った直後を耐え抜いたネコちゃんもA/D/Eの影響により全滅!

ははは!! 実験は!! 大成功!! 完璧だよ!!

あ、WHW コロナには ワクチンには mRNA式が オススメです

え!? まじ!? オッケー!! それでいこう!!

人体実験 希望者 絶賛募集中!



**人口削減会議**

全然上手いかねー! 世界の人口は増えるばかり! 世界をどうにかしたいん!

人間の自然発生は、最強マウスからねえ! だから、乳幼児期にじゃんじゃんワクチン打たせてやるの! イマイチ効果は、うすいマウス。年々増やしてるから、儲かっぺりますよ! 空からも色んなばら撒いてるんすけどねえ!

なかなか強毒ウイルスも完成しませんが...

そーだ! ちー、強毒ウイルスが流行ってるって設定にすれば、負けないですかね?

なるほど、良いアイディアです! 「無症状がコワイ」 「無症状感染者がウイルスを撒き散らす」 っていう設定も、よくないマウスか? マウスは、私達の手の肉マウスからねー!

一年ぐらい、信がらせておけば、みんな喜んで、強毒ワクチンに群がるでしょうな!

決まり!

流行ってるのは強毒ウイルスじゃなく、メディアウイルス!





# 新緑の気ままにトク

おおよそ考えられないことだが、福井県の片田舎の県議員が発行している広報紙について、「週刊文春」がわざわざ東京から取材に来た。

その広告記事が出るや否やその日のうちに「ヤフーニュース」にランキング入りし、多くのマスコミの取材攻勢を受けることとなり、NHKが報道したこともあって、一躍、「時の人」として全国デビューを果たすこととなった。

国を挙げてワクチン接種を推進している状況下にあつて、それに真つ向から異議を唱えているのが政権与党に属するベテラン県議員だということで、「陰謀論」というレッテルを貼り、文春砲ならず集中砲火を浴びせようという思惑があつたのだろうか。  
「おそらく、取材費まで支払つて、お招きした方がおられるのだろう」

ところが、集中砲火のはずが、「あなたのような政治家を待っていた」「日本には、まだこんな政治家が残っていたんだ」といった「喜

びと絶賛の声」が届き、全国からの電話は鳴り止まず、手紙、FAX、メール、フェイスブックなど、大きな激励をいただいた。

福井県議会事務局にも、私の身を心配して、百通余りの応援メッセージが届いたようだ。

今まで、なかったことだが、

「ほつとらいん102号」は、これまで3回も増刷し、今でも、「送って欲しい」という全国からの依頼にお応えしている。

「自民党で県会議長もした現役の県議員が書いたものだ」と言つて、「ワクチンを打たないように、テレビに洗脳された頑固な親を説得したい」、「身内、友人、近所に配りたい」、「勉強会に使いたい」など今でも、要望がある。

朝日新聞の朝刊一面にも取り上げられるなど、「ほつとらいん」も随分、出世したものだと思つていたら、ついにはヒカルランド社か

ら、「文句はあるか! 斉藤新緑爆弾発言!」というタイトルで、本にまでなる。

私にも「勇気ある政治家」として、講演依頼などもあるのだが、(ユーチューブに)



朝日新聞朝刊1面に掲載された本紙

「ほつとらいんの仲間内」に對して、「いくら饅頭が好きでも、今度の饅頭は毒が入っているから食べたらかんよ」と内緒に伝えただけで、勇気をふり絞った覚えはない。

ただ、ワクチンが毒饅頭だと知っている者が、目の前で、それを食べようとする人に何も知らせず、知らん顔をしていたら、それは人殺しの罪を負う。そんなものを見過ごして、「政治家」などあるはずはなく、私の魂がそれを許さなかつただけだ。

▼「花は桜木、人は武士」という言葉がある。

桜花と他の花の違いは、他の花がしおれて枯れて醜く散っていくのに対し、桜花は満開の盛りの時に散る。武士は平生は偉そうに振舞っていても、いざという時は、大義のために、民を守るために、平気で身を捨てなければならぬ。

大本営発表、大政翼賛会、学徒出陣は、第二次世界大戦だが、まさに今それが繰り返されている。

政府、あらゆる政党、すべての自治体、すべてのマスコミがこぞつて、ありもしないコロナウイルスのために、実験ワクチン接種を強力に推進している。

明治維新の志士たちは、命の捨て場を探していたというが、まさに、第三次世界大戦とも言うべきとき、若者や子や孫、次の時代のために、身を捨てて戦わねばならない。

幸か不幸か、人類の転換期ともいうべき時にめぐり合い、その時に、「政治家」をしている以上、任務を果たさねばならない。「自ら顧みてなおくんば、千万人ともいえずも我行かん」

「馴れ合いと仲良し」ごっこのような今の時代、人間としての味というか凄みというか、値打ちが違う時代を垣間見る。」

夏休みを前に、ワクチンから若者を守るために書いた。



amazon 予約発売中